

授業科目 基礎作業学実習Ⅰ

【担当教員名】 榎本郁子 他	対象学年	1	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

<一般目標：G I O>

作業療法の治療手段として用いられる代表的な作業活動の基礎的知識と基本技法を習得するとともに、それぞれの作業活動が人間に与える身体的、精神的、心理的、社会的な影響や効果について作業活動を通して学習する。そしてこれらの知識を臨床の場に立った時に活用でき、治療の応用に結びつけることのできる能力を身につける。

<行動目標：S B O>

1. 各作業の工程を説明できる
2. 各作業に必要な用具（器具）・材料を列挙し、その特性や使用法を説明できる
3. 各作業の工程に必要な技法（技術）を体験する
4. 作業に必要な注意事項を列挙できる
5. 材料・用具を責任もって手入れ・管理できる
6. 作品を1つ完成させる
7. 包括的作業分析が出来る
8. 各作業を通して、身体的、精神的、心理的、社会的な影響や効果を考え自分の言葉で表現できる。また文化との関わりを考え・意見をまとめることが出来る。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	紙を使う作業	1~	実習 榎本
2	絵画	8	実習 榎本
3	モザイク工芸		実習 榎本
4			
5	金工芸（銅版細工） * 4回目以降は3グループに分かれるために、作業活動は		実習 榎本 他
6	順不同となる		
7	籐細工 * 作業活動の内容を変更する場合がある		実習 榎本 他
8			
9	革細工		実習 榎本 他
10			
11	陶芸、木工、織物のオリエンテーションと作業		実習 榎本 他
~			
14			

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	図画工作・美術用具用法事典	相田盛字二	日本文教出版	2001（第2版）¥3,204（税込）
	作業・その治療的応用	日本作業療法士協会監修	協同医書	1999 ¥8,500+税
参考書				
その他の資料	プリント			

【評価方法】 出席 30%、提出物（作、レポート、チェックリスト） 60%、授業加態度 20%	【履修上の留意点】 ・ 実技中心の授業の為、出席が必須条件、遅刻厳禁 ・ 提出物の期限厳守 ・ 作品完成のためには授業時間以外も利用しなければならないことがある
--	---